

令和 7 年度 経営企画部・財務部(デジタルイノベーション推進課・会計課含む) いこま考座

〔開催概要〕

と き	8 月 16 日 (土)	13 時 00 分～15 時 15 分
ところ	市役所 401・402 会議室	
参加人数	11 人	
市側出席者	・ 財務部長、CDO、企画政策課長、広報広聴課長、危機管理課長、財政課長、課税課長、デジタルイノベーション推進課長・同課職員	
プログラム	・ 経営企画部各課、財務部各課（会計課を含む）、デジタルイノベーション推進課の主な仕事内容についての説明 ・ 「わたしのくらしと 10 年後の市役所」をテーマにワークショップ	

〔まとめ〕

経営企画部・財務部(会計課を含む)、デジタルイノベーション推進課の仕事を紹介。安全安心で住み続けたいと思ってもらえるまちをつくるために、また、安定した市民生活の基礎を築くために、各部の仕事を紹介する貴重な機会を持つことができた。参加者アンケートでも、「市役所の活動、取組みがよくわかった」「興味のある内容だった」等、回答された 8 人全員が「良かった」「まあまあ良かった」と回答された。一方で、ワークショップに関しては、事前告知がなかったことや、時間が短かったという理由から、2 人が「あまり良くなかった」と回答された。

限られた参加者数であったものの、皆さん前向きに受講されており、相互理解が深まる機会となった。

〔主なご意見等〕

10 年後のくらしをイメージし(どんな「困った」が起きているか)、それを誰がどう解決できるか(「自助」「共助」「公助)」というテーマで意見交換を実施。公助(行政)が関わって解決できることとしては、以下のような意見が出た。

- ・ 高齢化は進んでいるが、生駒市民はポテンシャルが高いので、このような機会(いこま考座)などを通してポテンシャルを活かしていく。
- ・ 困りごとをワンストップサービスで相談できる窓口をつくる。特に介護に関する困りごとは増えていくので、サービスの提供だけでなく、相談窓口の充実化が公的支援で必要なこと。
- ・ 生駒市外からでもボードレスに市に相談できるようにする。
- ・ 公共施設や小学校などをもっと有効活用する。
- ・ 縦割りではなく、組織に横串を通して対応する。
- ・ DX を活用して、市の事業へ幅広く意見を言える環境をつくる。自治会の枠を越えた意見聴取などにも DX を活用する。
- ・ タウンミーティングをもっと頻繁に開催する。
- ・ IT スキル向上への支援を行う。
- ・ コミュニティの場と、そこへ積極的に参加していけるしくみをつくる。
- ・ 自治会組織をもっと充実させる。

10 年後のくらしを、自分や家族などの立場で考え、自分にできることや行政のありかたなど話し合いました。

